

高齢者施設 管理者様
介護サービス事業所 管理者様

北九州市保健福祉局介護保険課

緊急事態措置の延長に伴う感染防止対策の徹底について

各施設・事業所におかれましては、日々、新型コロナウイルス感染症防止のための対策を講じていただき、ありがとうございます。

8月20日の緊急事態措置開始からこれまで、不要不急の外出自粛など非常に厳しい要請にも関わらず、多くの事業者の皆様にご理解と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

そのおかげもあり、新規陽性者数は福岡県では8月18日に過去最多の1,253人となって以降、減少傾向にあります。

しかしながら、現在の感染状況や病床の使用状況は、いまだに国の分科会が示すステージ判断指標を見ても、7つの指標のうち5つがステージⅣ相当に該当するなど依然厳しい状況が続いています。

そのような中、政府対策本部は、福岡県を含む19都道府県について、緊急事態措置を実施すべき期間を9月30日まで延長することを決定しました。

9月に入り大学などの学校再開や社会経済活動の活発化などの影響で感染が再拡大する懸念もあり、今後も決して予断を許しません。その中で、管理者に特に以下の点を再度お願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策に向けた管理者の方へのお願い

○より一層の職員の方の健康管理の徹底を

- ・発熱等の症状がみられる職員の方が、人員不足等を懸念して働いた結果陽性が判明し、サービス利用者や職員が濃厚接触者や陽性者になっていることが散見されます。安全安心かつ継続的な介護サービス確保の観点から、職員の健康管理の徹底と、発熱等の症状がみられる職員が休める職場環境の整備をお願いします。

○施設・事業所内での感染予防対策の徹底を

- ・ワクチンを接種していても、適切な感染対策を行っていない場合は、濃厚接触者になります。介助場面に応じた適切な感染対策を行ってください。特に、入浴介助や食事介助など飛沫が飛散する可能性がある介助の際は、マスク・エプロン・フェイスシールド等を活用し、感染予防対策をお願いします。(別紙参照)

緊急事態措置の延長に伴い、高齢者施設等における感染防止対策の取組みについても引き続き厳しい内容のお願いをすることとなり大変心苦しく思いますが、御理解・御協力くださいますようお願いいたします。

<参考>

福岡県ホームページ「緊急事態措置の延長について」

アドレス : <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/145807.pdf>

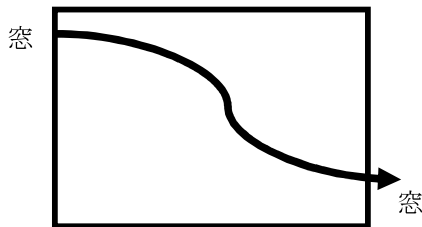
北九州市保健福祉局介護保険課
TEL : 093-582-2771

高齢者施設における 新型コロナウイルスの感染拡大防止のための 主な 3 つの対策

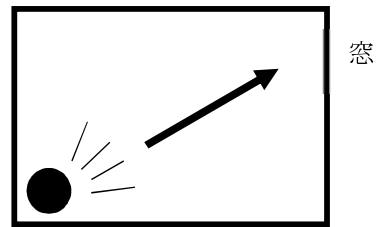
新型コロナウイルスの感染経路は、**飛沫感染**・**接触感染**・**エアロゾル感染**です。
感染防止の対策としてはこれらの感染経路を遮断する事が大切です。

1 換気

換気により部屋全体に風を通す事が大切です。
窓は双方向、常時 5~10 cm 開けておく**常時換気**が効果的です。



対角線上に窓をあける事で部屋全体の換気をより効果的に行うことができます。

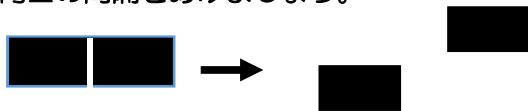


対角線上に開放可能な窓が無い場合は、窓に向かってサーキュレーターを設置する事で空気の流れをつくるすることができます。

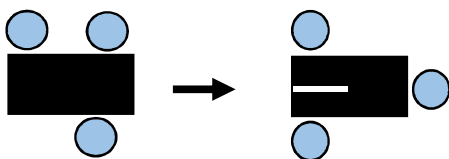
2 距離

利用者間の距離を **1m以上** とすることで、飛沫を浴びる可能性を低くすることができます。

離す事が可能な机は距離をあけ、机同士の間隔をあけましょう。



同じテーブルに複数人が座る場合は、利用者同士の間隔があげられる配席にしましょう。



3 消毒

消毒には、主に**手指消毒**と**環境消毒**があります。

手指消毒

- アルコール（濃度 70%以上）を選び、15 秒以上擦り込み消毒しましょう。

環境消毒

- 物品や共用部分などの環境面の消毒には場所や性状によってアルコールや次亜塩素酸ナトリウムを利用しましょう。
- 次亜塩素酸ナトリウム
使用時は部屋を換気し、手袋を装着して拭きます。0.1%以上の濃度の次亜塩素酸ナトリウムを使用する場合、拭いた後は必ず水拭きを行います。



主な介助時の望ましい感染対策

主な介助	望ましい感染対策
食事介助	マスク、フェイスシールド、手袋 むせが多い方の介助時はエプロンを装着
入浴介助	マスク、エプロン、フェイスシールド又はゴーグル
排泄介助(おむつ・パット交換、陰部洗浄)	マスク、エプロン、手袋、フェイスシールド
排泄介助(衣服の着脱)	マスク、エプロン、手袋(利用者がマスクをしていなければフェイスシールドが必要)

※ 介助(食事・入浴・排泄・レクリエーション・リハビリ等)の前後に手洗い又は手指消毒を行いましょ。長袖エプロンでない場合、肘までしっかりと手洗いを行います。上記の感染対策が不十分の場合、陽性者が発生した際には、濃厚接触者となる可能性があります。

濃厚接触者、健康観察者とは・・・？

陽性者と感染可能期間(発症日の2日前～)に

- マスク着用なく1m以内の距離で15分以上の接触があった方が濃厚接触者となる可能性があります。

※ 濃厚接触者となった際は、PCR検査の結果に関わらず陽性者との最終接触から2週間は発症の可能性があるため、自宅待機をお願いしています。



- お互いマスクを着用していても、換気不良な場で1m以内の距離で15分以上の接触があった方は、健康観察者となる可能性があります。

※ 健康観察者は自宅待機の必要はありませんが、体調不良時は医療機関を受診してPCR検査を受けるようにしてください。

本市においても、新型コロナウイルスのワクチンが普及してきていますが、ワクチン接種後の感染もおこっています。そのため、ワクチンを接種しても感染予防対策を継続していただく必要があります。

また、新型コロナウイルス感染症の症状は、風邪症状と区別がつかないため、**日々の健康観察**が大切になってきます。

毎日の検温や風邪症状(咳・咽頭痛・鼻汁、鼻閉・頭痛・下痢・倦怠感等)がないかなどの確認を、お願い致します。

【発行】北九州市保健所(保健福祉局感染症医療対策課)

通常時の感染防止対策

個人防護具着用例

基本スタイル:

入居者に直接の**接触がない**(**直接触れない**)



サージカルマスク



サージカルマスク
フェイスシールド

施設内では**サージカルマスクの着用が必須**です。

職員休憩室や更衣室などでもサージカルマスクを着用しましょう。

- 配膳
- 配薬
- 食事介助

入居者さんがマスクをつけられず、2m以内で会話する場合は、**フェイスシールド**をつけましょう

その2:

入居者との**接触がある**



サージカルマスク、手袋、エプロン

- おむつ交換
- シーツ交換
- 清拭
- 陰部洗浄*
- 体位変換
- 器具の洗浄・消毒時
- 清掃

その3:

入居者との**接触がある**



ゴーグルorフェイスシールド、
サージカルマスク、手袋、
エプロン

- 口腔ケア
- 吸痰吸引
- 体位変換
- むせの多い方への食事介助

対応する**入居者ごとに**、**手袋とエプロンは交換して手指消毒**しましょう！

サージカルマスクは汚れたら交換するようにしましょう！

*陰部洗浄で飛沫が飛ぶおそれがあるときはゴーグルかフェイスシールドをつけましょう